

2021年度 応用地形判読士資格検定試験 二次試験問題

[午後の部]

実技試験の注意事項

- (1) 実技試験の実施日時は、2021年11月27日（土）の10時0分から15時0分までとする。
 - ・午前の部：10時0分から12時0分までの2時間。
 - ・午後の部：13時0分から15時0分までの2時間。
- (2) 試験開始後1時間は、退場を認めない。
- (3) 試験問題には、国土地理院発行の地形図と空中写真を使用している。地形図は、注記がある場合を除いて、上を北としている。
- (4) 解答は、図示を求める問題に対しては〔地形図〕と〔記号凡例用紙〕に、記述を求める問題に対しては〔論述式答案用紙〕に、それぞれ記入すること。

◆ 〔地形図〕と〔記号凡例用紙〕および〔論述式答案用紙〕には、受験番号を必ず記入すること。受験番号が未記入であったり間違えている答案は、採点からすべて除外し、不合格とする。
- (5) 指定した読図範囲について、問題にしたがい読図すること。実体視できる範囲については、読図に加えて空中写真を判読すること。
これらの結果は、その地形図上に図示すること。図示するにあたり、地形種の輪郭は明確に記入すること。ただし、地形種は、地形判読記号、色、模様などにより判別できる程度としてもよい。
- (6) 地形図に記入する地形判読記号、色、模様などは、特に定めない。ただし、使用した地形判読記号などは、別に配布してある〔記号凡例用紙〕に記入すること。
- (7) 試験の開始にあたり、試験問題の欠落や印刷に不鮮明な箇所がないことを確認すること。
- (8) 試験開始後は、参考書籍のほか、通信機器類および電子機器類（ウェアラブル端末（例えばスマートウォッチ）などを含む）の使用は一切禁じる。また、携帯電話など音を発生させる機器類は、必ず電源を切ること。
- (9) この注意事項の説明後は、原則として質問に応じない。
- (10) 試験終了後、この問題用紙は持ち帰ってもよい。
ただし、①地形図、②記号凡例用紙、③論述式答案用紙、④空中写真は、机の上に残すこと。

◆ [地形図] と [記号凡例用紙] および [論述式答案用紙] には、
受験番号 を必ず記入すること。

《問 題》

1. 地形図に実線で示した範囲について、地形図読図と空中写真判読によって地形を分類し、その結果を地形図上に図示しなさい。その際、自然災害との関連に着目して地形を分類すること。

地形分類記号などは任意に設定して、別紙の [記号凡例用紙] に記入しなさい。

2. 次の a) と b) の質問に対する解答を、論述式答案用紙に記述しなさい。

必要に応じ、地形図中の参考する地点や地域に、記号や番号などを付してもよい。

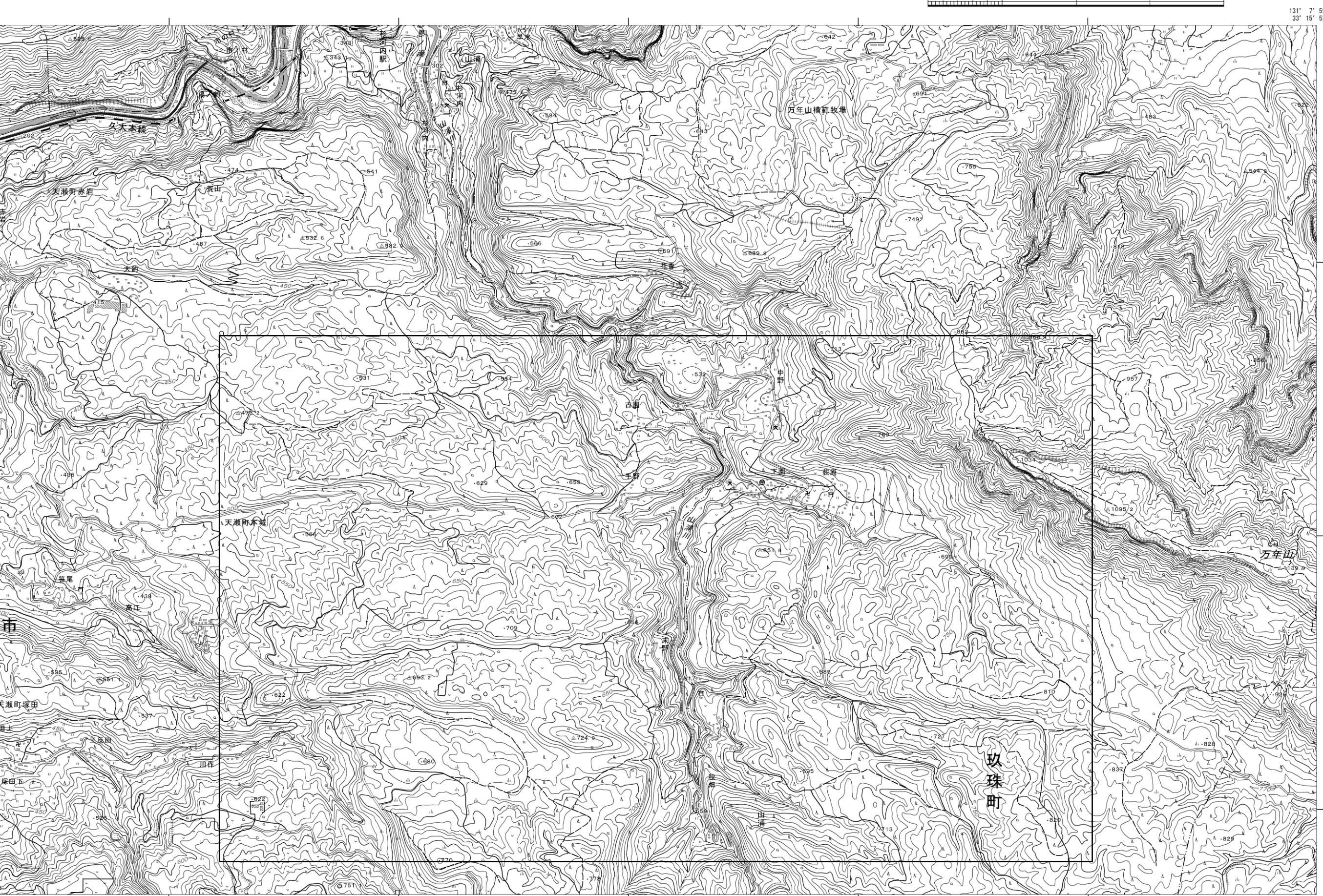
- a) 地形図に実線で示した範囲を構成する地質を推定し、その根拠を 100 字程度で述べよ。
- b) 地形図に実線で示した範囲およびその周辺で発生することが想定される気象災害を挙げ、地形・地質と関連付けて、その根拠を 300 字程度で述べよ。

<参考>

地 形 図 国土地理院「電子地形図 25000」／出題範囲は図示の経度・緯度を参照
(データ取得日 : 2021 年 10 月 06 日)
空中写真 整理番号 : KU-72-9Y ／ コース番号 C3 ／ 写真番号 : 5, 6

電子地形図25000

受験番号



1. 投影はユニバーサル横メルカトル図法、座標帯は第52帶、中央子午線は東経129°
2. 図郭に付した短線は經緯度差1分ごとの目盛
3. 高さの基準は東京湾の平均海面
4. 等高線及び等深線の間隔は10メートル

5. 磁気偏角は西偏約7° 10'
6. 図式は平成24年電子地形図25000図式
7. 本図上部の枠内には、この地図の購入者が
入力したものそのまま記載しています

令和3年10月 6日 調製

著作権所有兼発行者 国土地理院

131.08-33.24-A3-y-20211006-094209-0000